岩手県立盛岡農業高等学校

令和7年度 年間指導計画

整理番号 68

A科:動物科学科　B科:植物科学科　C科:食品科学科　D科:人間科学科　E科:環境科学科

教 科	農業	科 目	農業と環境	単位数	3	学年・学科	1学年・C科
教科書	実教出版「農業と環境」	副教材	農業と環境 学習ノート				

学習目標	○農業生物の育成と環境の保全についての体験的、探究的な学習を通して、農業及び環境に関する学習について興味・関心を高めるとともに、科学的思考力と課題解決能力を育成します。 ○農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業の各分野で活用する能力と態度を育てます。
学習方法	○座学において、農業と環境の関わりを理解し、生物の特性や栽培環境についての農業の基礎・基本を習得します。 ○農業生物の栽培や飼育の実習を通して、栽培技術を習得すると共に、栽培方法などを考える活動を行います。 ○環境保全型農業を実践していくために、今後の農業や環境保全に対する問題解決を図る態度と能力を養います。

学習評価		評価の観点	評価の観点の趣旨
	a	知識・技能 （専門教科は知識・技術）	農業と環境について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。
	b	思考・判断・表現	農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
	c	主体的に学習に取り組む態度	農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

		重み付け	考査	考査外
		100%	50%	50%
前期中間	知識・技能(技術)	40%	25%	15%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	5%	25%
		100%	50%	50%
前期末	知識・技能(技術)	40%	25%	15%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	5%	25%
		100%	50%	50%
後期中間	知識・技能(技術)	40%	25%	15%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	5%	25%
		100%	50%	50%
後期末	知識・技能(技術)	40%	25%	15%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	5%	25%

学期	単元名 （題材）	学習内容 （小単元）	評価の観点 a	評価の観点 b	評価の観点 c	単元の評価規準	評価方法
前期中間	第1章 農業と環境を学ぶ 第3章 栽培と飼育の基礎 第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト	・農業学習とは何かについて学びます。 ・学校農業クラブ活動について学びます。 ・作物の特性と栽培のしくみについて学びます。 ・トウモロコシ、エダマメの栽培について学びます。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a：農業学習の特質や、農業と環境に関するプロジェクト学習の意義、および方法と進め方について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 b：農業と環境に関する課題を発見し、プロジェクト学習により、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 c：農業と環境について自ら学び、プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・授業ノート ・授業プリント ・小テスト ・授業態度 ・計画立案 ・定期考査
前期末	第2章 私たちの暮らしと農業・農村 第3章 栽培と飼育の基礎 第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト	・人間と植物、動物とのかかわりについて学びます。 ・農業と食料供給について学びます。 ・作物をとりまく環境とその管理について学びます。 ・トウモロコシ、エダマメの栽培と利用について学びます。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a：栽培と加工・利用分野や環境分野に関するプロジェクトの内容について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 b：栽培と加工・利用分野や環境分野に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 c：栽培と加工・利用分野や環境分野について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・授業ノート ・授業プリント ・小テスト ・授業態度 ・計画立案 ・定期考査
後期中間	第2章 私たちの暮らしと農業・農村 第3章 栽培と飼育の基礎 第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト	・農業、農村の役割について学びます。 ・ダイコン、ハクサイの栽培と利用について学びます。 ・家畜の特性と飼育について学びます。 ・ニワトリの飼育と利用について学びます。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a：農業生物の育成と農業生産について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 b：農業生物の育成と農業生産に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 c：農業生物の育成と農業生産について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・授業ノート ・授業プリント ・小テスト ・授業態度 ・計画立案 ・定期考査
後期末	第2章 私たちの暮らしと農業・農村 第3章 栽培と飼育の基礎 第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト	・これからの社会と農業、農村について学びます。 ・家畜の特性と飼育について学びます。 ・ウシ(乳牛)の飼育と利用について学びます。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a：飼育と加工・利用分野や環境分野に関するプロジェクトの内容について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 b：飼育と加工・利用分野や環境分野に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 c：飼育と加工・利用分野や環境分野について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・授業ノート ・授業プリント ・小テスト ・授業態度 ・定期考査 ・プロジェクト発表